

2021年  
8月2日

学校統合  
特別号



まちだの新たな  
学校づくり  
Machida New School Project 2040

# まちだの教育

主な  
内容

- 2面 少子化と学校の老朽化  
推進計画ってなんだろう?
- 3面 新たな学校づくりで  
学校はどう変わる?
- 4面 新たな通学区域 2040  
新たな学校づくりのプロセス

発行:町田市教育委員会 編集:学校教育部 教育総務課 ☎194-8520 町田市森野2-2-22 MACHIDA TEL 042・722・3111 ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>

## ともに学び、ともに育つ 学び舎づくり

子どもたちが  
学び合う学校

大人が子どもの  
育ちを支える学校

「学校統合=新たな学校づくり？」  
まちだの新たな学校づくりが  
目指すものとは。



学校と地域が  
協働する学校

大人も学び、  
育つ学校

生活をより  
豊かにする  
学校

### 1 学校に通学して学ぶ意味って何？

ICTを活用した教育活動が進む学校教育。

この動きが加速する将来において、学校に通学する意味、学校で学ぶ意味とは。

#### 教育の目的=人格の完成 を目指して

学校に通学して学ぶ意味とは何だ  
と思いますか？昔から「読み書きそろ  
ばん」と言いますが、学校には、読み  
書きや計算、各教科の学習を通じて  
知識や技能を習得するという大切な  
役割があります。その一方で、子ども  
たちの習熟度に応じて学習内容を示

すソフトウェアが活用されつつあり、  
知識や技能の習得では、ICTを活用  
した教育活動が優位になっていくこと  
が想定されます。

しかし、教育の目的が「人格の完  
成」であると考えたときに、学校には  
最も大切な役割があります。それは、  
多様な価値観を持つ多くの子どもたち  
が、学校生活を通じて集団で話し合い、  
励まし合いながら学ぶことで、思考力、

判断力、表現力を身に付け、社会性  
や人間関係を形成する力を育む「場」  
としての役割です。この集団で生活し、  
学び合うことそのものが学校に通学し  
て学ぶ意味だと考えています。

町田市は、少子化と学校の老朽化  
という問題に直面しており、学校統合  
を避けることはできません。この学校  
統合を、学校に通学して学ぶ意味を  
踏まえた「ともに学び、ともに育つ学

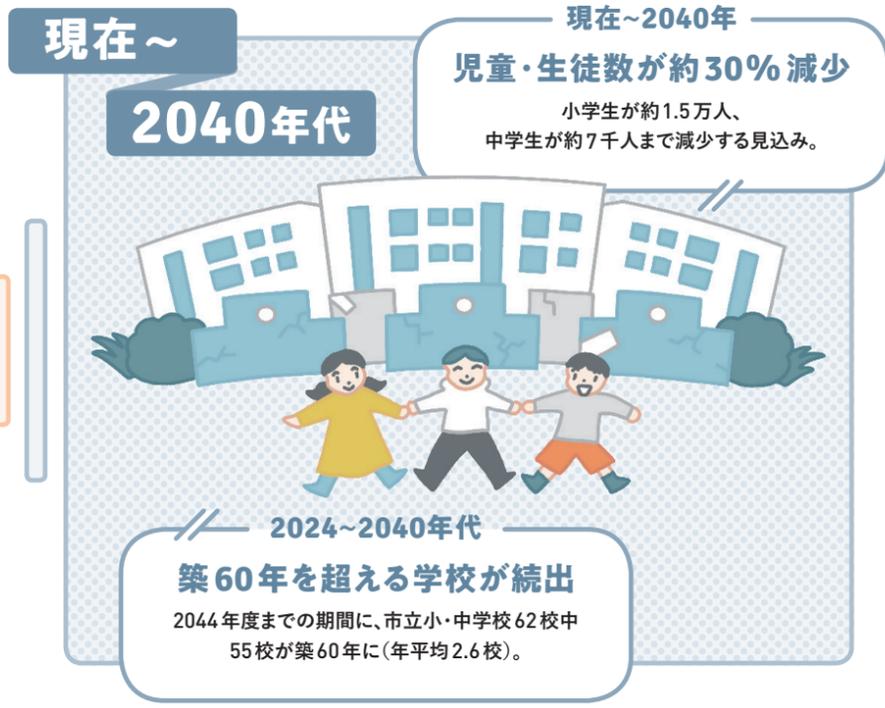
び舎」をつくる機会とするために「町  
田市新たな学校づくり推進計画」を  
つくりました。

まちだの新たな学校づくりを通じて、  
子どもたちだけではなく、大人もとも  
に学び、ともに育つ場づくりを進めて  
いきたいと思いますので、まちだの新  
たな学校づくりの取り組みにぜひご参  
加ください。

# 2 少子化と学校の老朽化

町田市の少子化と学校の老朽化の状況を、  
歴史を振り返りながら見てみよう！

小学生が15年間で  
3.7倍も増えた  
時期があるんだ！  
沢山の学校をつくる  
必要があったんだね。



## 学校の建替え時期が集中する理由とは

町田市は団地のまちです。高度経済成長期に大規模団地が建設されたことで人口が急増しました。1965年には小学生が約1万人、中学生が約5千

人だったものが、1980年代初頭には、小学生が3.7万人、中学生は1.8万人まで急増したことから、この時期に沢山の学校を建設しています。

しかし、少子化によって小・中学生は減少を続けており、2040年度には、小学生が1.5万人、中学生が7千人ま

で減少する見込みです(2020年度比約30%減)。そして、この高度経済成長期に建設した学校が一斉に老朽化しています。

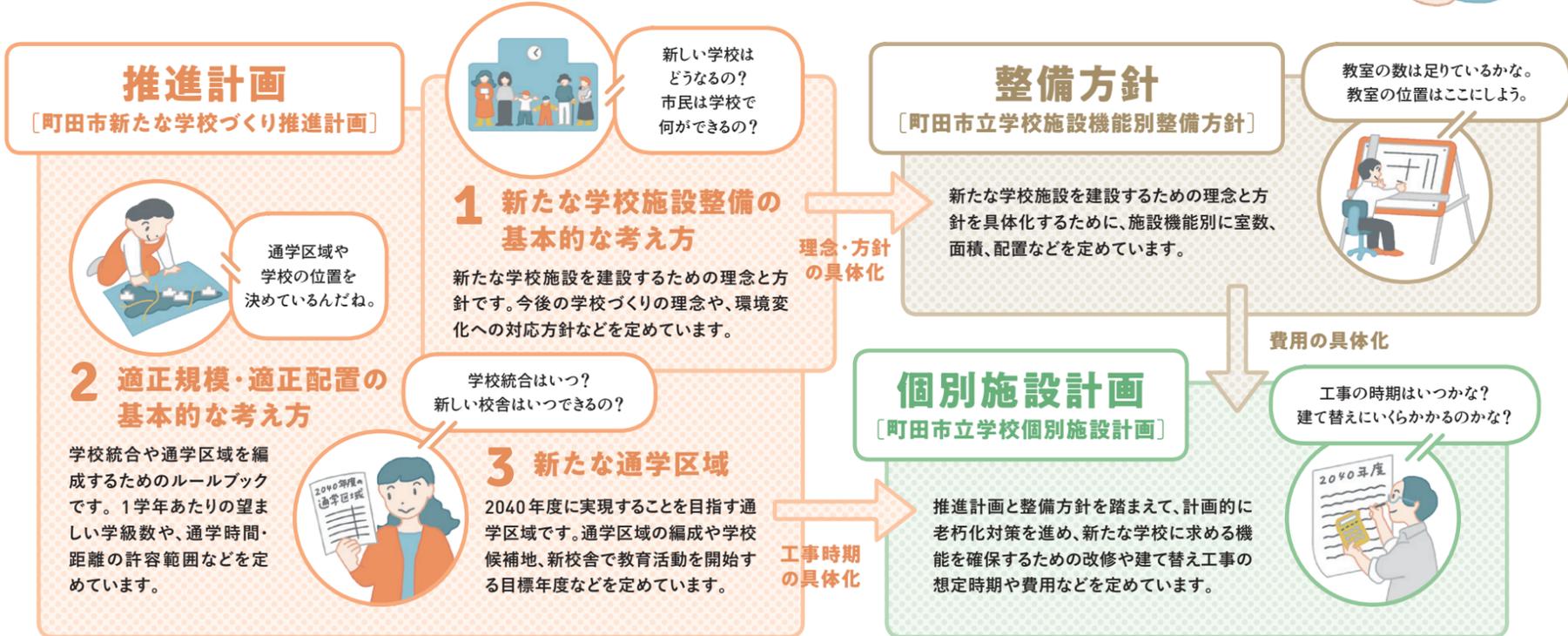
全国の公立小・中学校の平均建替時期は、築42年となっていますが、町田市立小・中学校では、2021年度時

点で、築42年を経過している校舎のある学校が62校のうち41校あります。2024~2044年度は、築60年(鉄筋コンクリート造の建物の耐用年数)を迎える学校が集中しており、すべての学校を建て替えることは難しいことから、学校統合の議論を進めてきました。

# 3 推進計画ってなんだろう？

学校統合を契機としたまちだの新たな学校づくり。  
その基本となる新たな学校づくり推進計画を見てみよう！

なるほど、  
学校の統合が  
目的では  
ないんだね！



## まちだの新たな学校づくりに込めた願いとは

少子化と学校施設の老朽化によって、すべての学校を建て替えることが難しい状況では、学校統合の議論を避けることができませんでした。

しかし、学校統合の議論を避けることができないとするならば、統合して建設する学校は、町田に生まれ育つ子どもたちが未来を切り拓くために必要な資質・能力を地域ぐるみで育むような新たな教育環境をつくりたいと考えています。この願いのもとに、審議

会を設置して検討を重ね、2040年度までに小学校を42校から26校、中学校を20校から15校に統合しながら新たな学校づくりを推進するために「町田市新たな学校づくり推進計画」をつくりました。そして、推進計画に掲げた新たな学校づくりの理想を具体

化するために、「町田市立学校施設機能別整備方針」「町田市立学校個別施設計画」を一緒につくりました。まちだの新たな学校づくりを推進することで、教育を重視する子育て世帯が町田市に住みたくなくなるような新たな教育環境に刷新していきます。

# 4 新たな学校づくりで学校はどう変わる？

新たな学校づくりでどう変わるのか、子どもたちの視点と地域の視点から、  
未来の学校を探検してみよう！

※『町田市立学校 施設機能別整備方針』にまとめられた機能拡充の内容をイラストにした整備イメージです。

## 子どもの教育環境はどう変わる？



## 協働的学習とコミュニケーションの重視

施設環境で最も大きく変わるのが、子どもたちが最も多くの時間を過ごす普通教室です。

普通教室は、学校に通学して学ぶ意味を踏まえて、協働的な学習が展開しやすくなるような環境に整備します。具体的には、オープンスペースの整備・面積の拡大や十分な収納スペースをつくることによって、教室の広さを確保します。そして、大型提示装置（プロジェクタ型電子黒板）などのICTの活用を前提に、投影面・板書面として活用することができるホワイトボードを整備します。

また、地域協働の拠点、防災拠点としての役割を充実させます。

これまで十分確保することができていなかった、コミュニティスクールや学校支援ボランティア等の活動や準備を行うためのコミュニティルームを整備するとともに、避難施設の運営に必要な施設機能を一体的、近接的な位置に整備します。

## 地域協働の拠点・防災拠点は どう変わる？



# 5 新たな通学区域 2040

通学区域はどうなるの？ 2040年度までに実現を目指す通学区域と学校候補地、検討着手時期をご紹介します。



統合したら  
同じ学校だね！  
私たちの学校はいつから  
話し合うのかな？

## 町田市立学校の新たな通学区域

通学区域 [中学校区]	検討着手 基本計画	通学区域 [小学校区]	検討着手 基本計画	通学区域となる 町区域
1 堺・小中一貫 ゆくのき学園 (武蔵岡)	2031	1 相原・小中一貫 ゆくのき学園 (大戸)	2031	相原町
		2 小山ヶ丘	-	小山ヶ丘6丁目・小山ヶ丘4~5丁目 の一部・小山町の一部
2 小山	-	3 小山	-	小山町の一部
		4 小山中央	-	小山ヶ丘1~3丁目・小山ヶ丘4~5丁目 の一部・小山町の一部
3 忠生 小山田	2033	5 忠生 山崎 ※2 図師 ※3	2025	図師町・忠生1~4丁目 根岸1~2丁目・根岸町・矢部町
		6 小山田	2024	小山田桜台1~2丁目・上小山田町 下小山田町・常盤町
		7 忠生第三 木曾境川	2030	木曾西1~5丁目・木曾東1~4丁目 木曾町
4 木曾	-	7 忠生第三 木曾境川	2030	木曾西1~5丁目・木曾東1~4丁目 木曾町
5 鶴川	-	8 鶴川第一 ※3 大蔵	2030	大蔵町・小野路町・野津田町の一部
		9 鶴川第二 鶴川第三 ※2	2021	鶴川1丁目・能ヶ谷1~7丁目・広袴町
		10 鶴川第三 ※2	2021	真光寺1~3丁目・真光寺町 鶴川2~6丁目・広袴1~4丁目
		11 三輪	-	三輪町・三輪緑山1~4丁目
6 鶴川第二 真光寺	2030	12 藤の台 金井 ※4	2033	金井1~8丁目・金井町・金井ヶ丘1~5丁目 野津田町の一部・薬師台1~3丁目
7 薬師 金井	2024	12 藤の台 金井 ※4	2033	金井1~8丁目・金井町・金井ヶ丘1~5丁目 野津田町の一部・薬師台1~3丁目

通学区域 [中学校区]	検討着手 基本計画	通学区域 [小学校区]	検討着手 基本計画	通学区域となる 町区域
8 町田第一	-	13 町田第一	2031	原町田5~6丁目・中町1~4丁目
		14 町田第四	2027	旭町1~3丁目・森野1~6丁目
9 町田第二	-	15 町田第二	2025	原町田1~4丁目
		16 町田第六	2027	高ヶ坂1~7丁目
10 南大谷	-	17 町田第五	2028	東玉川学園3~4丁目・南大谷
		18 町田第三 本町田東 本町田	2021	玉川学園1~8丁目
11 町田第三 山崎 ※1	2025	19 山崎 ※2	2027	藤の台1~3丁目・本町田
		20 南第一	2022	山崎1丁目・山崎町
12 南	2031	21 南第三 南第四	2027	金森4~5丁目・南町田1~5丁目 金森1~3, 6~7丁目 金森東1~4丁目
		22 つくし野 ※1 南つくし野	2030	小川6~7丁目・つくし野1~4丁目 南つくし野1~4丁目
13 つくし野	-	23 鶴間	-	鶴間1~8丁目
		24 成瀬台 成瀬中央	2033	成瀬台1~4丁目・成瀬1~4丁目 西成瀬1~3丁目 東玉川学園1~2丁目
14 成瀬台	-	25 南第二 南成瀬	2021	成瀬5~8丁目・南成瀬1~8丁目
		26 小川	-	小川1~5丁目・成瀬が丘1~3丁目
15 南成瀬 ※3	2025	26 小川	-	小川1~5丁目・成瀬が丘1~3丁目

太い赤字(下線あり)は  
学校候補地です。

※1 学校用地を除いて、  
推進計画策定時に学校  
が建っていない候補地  
は、そこに学校が建てら  
れるかどうかの調整が必  
要であるため、すでに学  
校が建っている候補地か  
ら次点の候補地を選ん  
でいます。町田第三中学  
校区と山崎中学校区の  
学校候補地は木曾山崎  
公園、つくし野小学校区  
と南つくし野小学校区  
の学校候補地はつくし野  
セントラルパークです。

※2 通学区域を2つに  
分割して統合します。

※3 改築はせず、既存校  
舎の活用、増築工事、長  
寿命化改修工事のいず  
れかで対応することを予  
定しています。

※4 学校候補地は金井  
スポーツ広場です。

# 6 新たな学校づくりを一緒に考えよう

新たな学校をつくるために、保護者や地域の皆さまと話し合って基本計画をまとめます。この計画をつくるまでのプロセスをご案内します。



## 統合新設校 基本計画ができるまで

## どなたでもご参加いただけます！

### 1 新たな学校づくり推進計画 地域説明会

### 1 新たな学校づくり推進計画 地域説明会

地域説明会では、推進計画の概要や今後の進め方などについて説明いたします。

### 2 統合新設校 意見交換会

現在の通学区域別に、保護者や地域の皆様と統合新設校を設置するうえでの個別具体的な検討課題を確認します。

基本計画検討着手の  
早い地域を優先！

### 3 統合新設校 基本計画検討会

統合新設校の基本計画を策定するうえで検討が必要な事項について、保護者、地域の皆様と話し合います。

### 4 統合新設校基本計画 決定

### 2021年度 開催日時

午前：10時~12時  
午後：14時~16時

10月9日(土)	小川小学校 体育館
10月23日(土)	小山田南小学校 体育館
10月24日(日)	町田市役所 3階会議室3-1~3
11月6日(土)	大蔵小学校 体育館
11月27日(土)	相原小学校 体育館

※開催日時や方法が変更となる場合があります。町田市ホームページや「広報まちだ」でも開催概要を改めてご案内しますので、ぜひご確認ください。

## 2 統合新設校 意見交換会

推進計画において、統合新設校基本計画の検討着手を「2021年度」としている下記の地区を対象に、8月末から10月にかけて意見交換会を開催します。

## 新たな学校づくりに関する資料とお問合せ

推進計画などの資料は、町田市ホームページにも掲載しています。右のQRコードからアクセスすることができます。

お問合せ先

[新たな学校づくり推進計画について]

町田市教育委員会学校教育部 教育総務課総務係 電話:042-724-2172

[通学区域(学区)について]

町田市教育委員会学校教育部 学務課 電話:042-724-2176

まちだの  
新たな学校づくり  
に関するお知らせ  
(町田市ホームページ)



本町田地区	町田第三小・本町田東小・本町田小
南成瀬地区	南第二小・南成瀬小
鶴川地区	鶴川第二小・鶴川第三小・鶴川第四小

※2021年7月14日時点において、開催日と場所を調整しています。未就学児を含めた保護者の皆さまには、学校や幼稚園・保育園を通じてご案内をお送りいたします。地域の皆さまには町田市ホームページや「広報まちだ」などを通じてご案内しますので、ぜひご確認ください。



この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

この広報誌は、198,500部作成し、1部あたりの単価は5円です。(職員人件費を含みます。)